



ふるさとづくりに取り組んで……

運営協議会創立20周年 11/18(日)

柏市増尾近隣センター運営協議会では、創立20周年を迎え、今秋11月18日に記念式典の挙行を予定すると共に、いくつかの記念事業を実施するため現在、実行委員会（佐藤秀哉委員長）により具体的な検討やその準備がすすまられています。

今から20数年前、柏市が提唱したふるさとづくり運動に呼応して各地区（コミュニティ区域）では、近隣センターが建設され、それまで町会等が扱っていた行政連絡的な機能をこえて、地域全体がかかえる諸問題や課題を話し合い解決していくための住民主体の組織が結成されました。その名称は各地区によって多少異なりますがこれによって柏市では住民参加を前提とした街づくりが全国に先駆けて可能となり本格化しました。

当地域では豊かな水と緑の自然に恵まれた条件を活かしながら、住宅地としての生活環境をいかに整備していくか、また同時に住んでいる人と人との心の触れあい・交流ができる街づくりが目指されてきました。しかし、協議会の創立当初にあっては組織的にも十分な活動能力がそなわっておらずふるさと運動をどのように展開させていくか具体的な指針もない状態で長く暗中模索の時期が続きました。それが何とか軌道に乗れり今日に至ったのは協議会創立から現在まで終始一貫してこれにかかわり、会の自立育成に尽力された吉田会長を始め少なからぬ先輩役員諸氏の地道な努力の賜

物と言うことが出来ます。

ここで創立20周年の私たちの歩みを概観すると、特に触れあい・交流を中心とした街づくりのソフト面について私たち協議会は近隣センターを活動拠点として、これまで様々なイベントや行事を企画立案しこれを実践してきました。それも地域の伝統や習俗をそのまま復活・保存するだけでなく、私たちの生活によりよくマッチした様式と中身の追及を心がける中で、地元住民の交流の輪を広げてきました。地区社協との連携のもと、今ではすっかり定着化した文化祭と触れあいの集いや年々創意工夫を凝らした住民運動会をはじめ、その他の諸事業においても自然との共生を願ったエコロジカルなテーマへの取り組みや実践活動がこれまで息ながく続けられてきました。

しかし21世紀を迎えて、近隣センターとふるさと運動のあり方がいま再び問い直され、見直されていることも確かです。これからはイベントや行事中心の触れあい交流だけではなく、健康福祉をはじめとする地域の行政的諸課題についても市と共に私たち自身の十分な検討や取り組みが出来るように期待されます。そのためには町会や地区社協のみならず、子供会から老人会組織で地元関係機関が連携しあいこの地域に住んで良かったと言えるまちづくりに発展することが期待されています。

これからの増尾近隣センターに望むこと

ふれあい会会長 高草木 久夫

標記テーマの原稿依頼を、安易に引き受けてしまったものの、4百字程度という制約の中で果たして何が書けるか迷いました。その結果として「よりよい地域づくり」を基本に、近隣センターの事業計画の中で、毎年継続的に取り組んで欲しいもの2件について述べてみました。

①「地域社会軟着陸講習会」開催のすすめ

定年退職して「地域にどう関わるか」に戸惑っている人は多いようです。市の統計書から単純計算して、毎年、増尾地区だけで約百人程度の定年退職者が生まれていると推測できます。これらの人々を優しく地域に軟着陸させるための講習会ですが、ご夫婦同伴の出席を歓迎するものです。

②「学校の現況報告と懇談会」開催のすすめ

社会の病理現象として「学校崩壊」「学級崩壊」が深刻な問題となっています。柏市の現状、増尾地区の現状はどうか？は、地域の大きな関心事です。学校問題を共通の話材として、地域や家庭の教育力を高め、併せて、地域の連帯感を深めようとするものです。

ついにハム太郎登場！

6年目を迎えた、ちびっこ体操

前日までの雨模様が一転、夏の太陽が照りつける暑い朝、元気なちびっこの歓声であふれかえった体育室。おなじみの石原由紀子先生のご指導は、これまで6年目を数え、参加47組124名は過去最高。ミッキー体操に始まり、柔軟、ヤジロペーと続き、水分補給しながら歩け歩けの進行。リラクゼーションの後は人気のサーキット。ケンケンパや石渡り、平均台に続いてキャタピラー。いつも大渋滞のバンビへのつなぎは、スタッフの誘導でスムーズに流れ、大成功。最後はトンネルを通過して一周完了。そして締め体操は、紙テープのリボンをかざして「ハム太郎」。

暑さにめげず快い汗をふき笑顔で帰路につくちびっこに、スタッフの頬もついゆるむ。柏市公聴課とキッズジャーナル紙からの取材もあり、本企画の一層の充実と継続をあらためて決意した。

今回は11月17日(土)午後。お誘い合わせの上ご参加下さい。（保健体育部）



▲上手に飛んだね

新しいサークル紹介

今年度、増尾近隣センターを拠点に活動する新しいサークルが誕生しました。興味と関心のある方はふるってご参加ください。

増尾ダンス愛好会

ちょっと覚えのある方で、みんな和気相合に楽しんで交流。

毎週土曜 夜7時～9時（原則）

夏期はふるさと会館（増尾町会）を主会場としています。

代表者・連絡先 市岡 実 ☎72-7000

吉沢 栄 ☎72-5033

増尾将棋・囲碁クラブ

老若男女を問わず入門者、初心者歓迎。

毎週水曜日 午後12時～3時（原則）

代表者・連絡先 三枝 守 ☎74-5597(将棋)

高城 守 ☎72-8299(囲碁)

男の料理研究室

研究室と銘打った看板どおり、なかなか研究熱心で味の知的追求にうるさい面々の集まり。奥様孝行もいたします。

今のところ月1回の定例会

代表者・連絡先 佐々木幸吉 ☎39-5188

※各参加希望者は代表者に連絡して下さい。

最近の投書箱から

先日出張所の窓口で出産届出を済ませたが、その際窓口に対応した職員の方から「おめでとうございます」の一言を開くことができなかった。残念。

一大変失礼いたしました。出産・結婚の記念樹をお配りしている立場からも、いつでも心のこもったごあいさつが出来るよう、ご指摘の点を職員一同肝に銘じてがんばります。

トイレの臭気がひどい。何とか改善できないのか。

一特に一階の男子トイレの小便器に主原因があり、管の清掃等も実施したのですが、決定的な効果がありません。とりあえず消臭剤を取り付けましたが、併せて換気扇の取替も検討中です。

図書室の閲覧時、冷房がきつすぎる。

一現在の冷房装置は、天井の換気孔の開閉の調節以外には、各部屋別のコントロールができません。省エネの見地からもできるかぎり調整に留意いたしますので、皆さんからも遠慮なく申し出てください。

私たちはサービスの行き届いた快適で利用しやすいセンター運営をめざしています。これからも皆さまの率直なご意見ご感想をお聞かせください。

猛暑にめげず!?

行事予定



▲7/28~29 松野台ハッピー夏祭り復活する



▲7/28~29 松野台商店会も頑張りました



▲8/4~5 加賀夏祭り太鼓と踊りの成果は本番で!



▲8/4~5 南ヶ丘お孫さんも参加して輪踊り



▲8/18~19 増尾納涼盆踊り大会盛大に



▲8/18~19 名戸ヶ谷納涼盆踊り大会

9/19(水)

協議会委員の日帰り視察研修
行き先 夢の島公園と東京江戸博物館

10/10(水)~10/16(火) 手賀沼水辺写真展

近隣センターロビーに於いて手賀沼の浄化事業、家庭で出来る浄化対策並びに現場で採取した3種類の水を展示する。四季を通して手賀沼の自然は市民の憩いの場所であり共有の財産であります。我々の手で末永く保護しなければならないと思います。

10/14(日)21回体育祭

地域活動を担っている役員相互の親睦と交流、併せて住民相互の交流促進のため企画実行。老若男女が楽しめるゲーム「インディアカ」による町会・自治会対抗戦で行いますのでチームの選出ご協力を願います。

10/19(金)手賀沼船上見学会

日時: 10月19日(金) 9時~16時
集合場所: 増尾近隣センター9時(厳守)
募集人員: 20名(一世帯一人)
一度経験した方は、参加出来ません
行程: 近隣センター出発→柏プラネット→手賀沼船上→昼食→アサヒ茨城工場→増尾近隣センター帰着
受付: 10月1日~定員になり次第〆切る

11/3(土・祝)~4日(日) 文化祭 出展作品募集

本年度の文化祭は20周年記念事業として開催いたします。地域の皆様が日頃の成果発表の機会として参観者の皆様と共に20周年記念にふさわしい物にしたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

募集作品 書、絵画、写真、生け花、盆景、手芸、陶芸、その他
応募資格 当近隣センター地域内に在住勤め方、団体は本部を置くもの
申込受付 9月10日(土)~16日(日)
搬入 11月2日(金) 9:00~15:00
搬出 11月4日(日) 15:00~17:00
尚、出品される皆様への説明会を下記の日程で行います。出展者又は出展団体の代表者は必ず出席して下さい。都合の悪い方は代理の方でも結構です。
日時 10月6日(土) 10:00~11:00
場所 近隣センター会議室A(2F)
ご不明な点は、その他の作品出展についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

文化部・高橋 ☎76-6476
増尾近隣センター ☎74-7211



▲「サンシティ柏」から増尾近隣センターを望む

ゴミゼロ運動実施報告

去る5月27日(日)8時~10時まで、ゴミゼロ運動を実施しました。生憎の土砂ふりで出足が危惧されましたが、1,100人もの参加を得て無事終了しました。今年の特徴は子供達(小学生)が主役で、開会の挨拶から各種のゴミの分別整理、ゴミに対するアンケート、閉会の挨拶など立派に行いその目的を達成しました。御参加、御協力ありがとうございました。

ゴミゼロ運動の収集品

区分	ごみ収集量
(1) 空きビン類	3袋
(2) 空き缶類	10袋
(3) 不燃ごみ類	30袋
(4) プラスチック類	23袋
(5) ペットボトル	3ネット
その他 (有料物品)	消化器2本 テレビ1台

参加人員
一般参加 1,072名
ボランティア団体 (2団体) 80名
(環境部)

増尾ガーデニング便り

増尾ガーデニングは発足以来、丸3年を経過し「柏市みどりの基金」の後援を受けながら、みどりのボランティア団体として活動してきました。町の美化、緑化をめざして、これまで近隣センターを中心に、プランターによる花づくりを進めてきましたが、最近では、センター前の街路樹の下や裏手駐車場周辺の花壇づくりからセンター内の樹木の移植、剪定に至るまで精神的に取り組んでいます。

今年、運営協議会創立20周年にあたるため、式典会場となるセンターをさらに美しく花で飾ろうと、会員一同がんばっています。

会長の三溝勝久さん以下会員21名。第1、第2、月曜日の月2回が定例会となっております。花づくりと会員同志のおしゃべりや交流も盛んでのびのび楽しくがモットーです。

皆さんも是非お気軽にご参加下さい。

増尾西小・土小3年生 近隣センター見学

6月27日(水)、28日(木)の両日、近隣センターは100名をこえる元気な子供たちがあふれました。増尾西小・土小の3年生が社会科学習の一環としてセンターを見学、授業参観日とは反対に、お母さんたちが昼間センターで行なっているレクリエーション活動や料理研究会等の様子を興味深く見学しました。見学の後、予想もつかない質問続出、所長や宮崎副主幹も対応におおわらわでした。

子供たちの中には、日頃からセンター内の図書館や個人開放の体育室を利用している者が少なくありません。

近隣センターの“和室” が新装なる

今年4月からのセンター利用有料化に伴い、和室のタタミ替えを行いました。ふすま障子類も一新しようと予算不足の折、センターの管理人さんや地元有志の方のご協力を得て全面的に装いを新たにしました。また茶道の本格的なお稽古ができるように念願の炉も設置することができたほか、管平かしわ荘の廃止により不用になった大型カラオケ機器をゆづり受けるなど、設備面でも充実しました。大いにご活用ください。